

— はじめに —



本県では、「環境首都あいち」の実現に向け、第4次愛知県環境基本計画に基づき、「安全・安心の確保」、「社会の低炭素化」、「自然との共生」及び「資源循環」の4つの分野ごとに具体的な取組を推進するとともに、総合的な施策推進のため、持続可能な未来のあいちの担い手を育成する「人づくり」に重点的に取り組んでいます。

持続可能な社会を支える基盤である「安全・安心の確保」では、大気、水質等の環境監視や工場・事業場の規制、指導等に取り組んでいます。

「社会の低炭素化」では、地球温暖化の防止に向けた取組を着実に進め、住宅太陽光発電施設の設置基数や次世代自動車（EV、PHV、FCV）の普及台数は全国第1位となっているところであり、平成30年2月には、国内外の社会情勢の変化を踏まえ、より一層の地球温暖化の防止に向けて「あいち地球温暖化防止戦略2030」を策定するとともに、同年10月に「愛知県地球温暖化対策推進条例」を制定しました。

「自然との共生」では、目標年である2020年が間近となった「愛知目標」の達成に向け、生態系ネットワーク形成の推進や国際先進広域自治体連合による協働など国内外での取組を進めております。

「資源循環」では、循環型社会の形成に向け、廃棄物の適正な処理や3Rの促進、地域循環圏づくりなどの取組を進めております。

また、「環境首都あいち」を支える「人づくり」では、未就学児童から社会人に至る世代ごとに、特色ある環境学習等を展開しており、さらに「行動する人づくり」を進めるため、平成30年3月に「愛知県環境学習等行動計画2030」を策定しました。

このような中、今回の環境白書の特集では、「地球温暖化の防止」と「行動する人づくり」を取り上げ、平成30年に策定等した「あいち地球温暖化防止戦略2030」及び「愛知県地球温暖化対策推進条例」並びに「愛知県環境学習等行動計画2030」について紹介しています。

この環境白書が、愛知の環境についての理解を深めていただき、また、県民、事業者、民間団体の皆様それぞれの立場から環境をよりよくするための取組を進めていただくきっかけとなれば幸いです。

平成30年12月

愛知県知事 大村秀章

目次

第1部 特集

特集1 地球温暖化の防止に向けて

～「あいち地球温暖化防止戦略2030」と「愛知県地球温暖化対策推進条例」～・・・1

特集2 持続可能な社会を支える「行動する人づくり」を進めます

～愛知県環境学習等行動計画2030～・・・11

第2部 平成29年度の環境の状況と施策

第1章 地球温暖化等・・・19

第1節 地球温暖化・・・19

第2節 ヒートアイランド・・・29

第3節 オゾン層保護・・・30

第2章 大気環境・・・32

第1節 環境の状況・・・32

第2節 大気環境保全に関する施策・・・38

第3章 交通環境・・・41

第1節 自動車交通環境・・・41

第2節 航空機騒音・・・48

第3節 新幹線鉄道騒音・振動・・・49

第4章 生活環境（騒音、振動、悪臭）・・・50

第1節 概況・・・50

第2節 騒音・振動・・・50

第3節 悪臭・・・53

第5章 水環境・・・55

第1節 環境の状況・・・55

第2節 水環境保全に関する施策・・・64

第6章 土壌環境・・・81

第1節 環境の状況・・・81

第2節 土壌汚染防止のための施策・・・81

第7章 地盤環境・・・83

第1節 環境の状況・・・83

第2節 地盤環境保全に関する施策・・・85

第8章 廃棄物・資源循環・・・86

第1節 環境の状況・・・86

第2節 廃棄物・資源循環に関する施策・・・91

第9章 自然環境・生物多様性	115
第1節 環境の状況	115
第2節 自然環境保全に関する施策	116
第3節 生物多様性の保全と施策	137
第10章 環境リスク	143
第1節 化学物質の適正管理	143
第2節 ダイオキシン類対策	147
第3節 内分泌かく乱化学物質	149
第4節 環境放射能	150
第11章 人づくり・環境学習等	157
第1節 人づくりの推進	157
第2節 環境学習等の推進	164
第3節 国際環境協力の推進	168
第12章 環境における各種基盤施策	169
第1節 公害の防止、健康被害者の救済	169
第2節 環境影響評価の実施	173
第3節 企業の環境保全活動の支援	178
第4節 県の事務・事業における環境配慮の推進	179
第5節 環境に関する調査・研究	181
第13章 第4次愛知県環境基本計画の進捗状況	186

資料編

大気環境	(1)
騒音・振動・悪臭	(11)
水環境	(19)
土壌環境・地盤環境	(35)
廃棄物・資源循環	(43)
自然環境	(45)
組織・法体系等	(51)
環境行政年表	(61)

クローズアップ 目次

・セントレアを中心とした水素エネルギーの利活用拡大に向けて	24
・アスベスト（石綿）の飛散防止対策	40
・「EVI グローバル EV パイロットシティプログラム（PCP）」に参加しています	45
・「知ろう！ふれあおう！“三河湾”」 ～ショッピングセンター等において三河湾のPR活動を行いました～	72
・下水道の放流水りん濃度増加に係る試験運転について	75
・あいち資源循環推進センター・展示コーナーをリニューアルしました	97
・3010運動推進キャンペーンの実施	100
・海ごみ減らそうフォーラム・海ごみ減らそうプロジェクトの開催	102
・大規模災害に備え災害廃棄物処理図上演習を実施しました	103
・「廃棄物の適正な処理の促進に関する条例」を改正しました	106
・「いらご さららパーク」の整備が完了しました	118
・指定希少野生動植物種を追加指定しました	119
・特定外来生物「ヒアリ」について	122
・愛知県鳥類生息調査（1967-2016）－50年の記録－を発刊しました	125
・県営都市公園「油ヶ淵水辺公園」を第1期開園しました	128
・あいち生態系ネットワーク協議会地区間交流会を開催しました	139
・愛知目標達成に向けた国際先進広域自治体連合ハイレベル公開ウェブ会議を開催しました	142
・高校生がつくった環境学習プログラムを貸し出しています	160
・平成30年度も「Let's エコアクション in AICHI」を開催しました	162
・環境、生物多様性保全の連携等に関する覚書をブラジル・サンパウロ州と締結しました	168
・大気環境の測定現場からの報告です	184

凡例

- ◆ 年（年度）の表記は、原則として、近年の国内の動向について記述する場合は和暦を、中長期的・将来的な動向や国際的な動向について記述する場合は西暦を使用しています。必要に応じて、西暦と和暦を併記しています。